

公益財団法人 **大宅壮一文庫 見学会**

評論家・大宅壮一（1900—1970）の雑誌コレクションを引き継いで、明治時代以降130年余りの雑誌を所蔵している雑誌図書館のバックヤードツアーです。

「明治・大正・昭和のレトロな雑誌がぎっしり詰まった迷路のような書庫の旅」へ、一緒に行ってみませんか。

2014年 **12月6日(土)** 午前9時30分～11時

集合：京王線・八幡山駅改札前 午前9時15分(時間厳守)

会 場：公益財団法人大宅壮一文庫(東京本館)

世田谷区八幡山3-10-20 Tel：03-3303-2000

参加費：無料

定 員：15人（申し込み順） ※要事前申込み

※ 今回は見学場所の都合により 15人限定 です。

お申し込みは、メールかFAXで12月3日までに多摩デポへ

E-Mail：depo_tama@yahoo.co.jp FAX：042-484-3945

主 催：NPO法人共同保存図書館・多摩

——NPOの会員でなくても、どなたでも参加できます——



●作成されている雑誌記事索引は一般誌、大衆誌の記事を調べる有力なツール。公立図書館や大学図書館が所蔵していない女性週刊誌などについても検索できます。文庫資料の性格に即した独自の件名体系も特徴的。

●現在の大宅壮一文庫は、没後の1971年に開館。明治時代から現在までの1万種類75万冊を所蔵。年間利用者は約10万人。マスコミははじめ研究者などが、世相・風俗をうつつしだす雑誌の記事を求めて閲覧や複写をしに訪れています。

●大宅壮一は古書市や古書店に通って約20万冊の資料を遺しました。蔵書のほとんどは雑誌で「雑草文庫」と称して、知人に開放していました。

